

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和5年6月20日(2023.6.20)

【公開番号】特開2021-6403(P2021-6403A)

【公開日】令和3年1月21日(2021.1.21)

【年通号数】公開・登録公報2021-003

【出願番号】特願2020-108255(P2020-108255)

【国際特許分類】

B 41 M 5/392(2006.01)

10

B 41 M 5/388(2006.01)

B 41 M 5/385(2006.01)

【F I】

B 41 M 5/392 4 0 0

B 41 M 5/388

B 41 M 5/385 4 0 0

【手続補正書】

【提出日】令和5年6月7日(2023.6.7)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

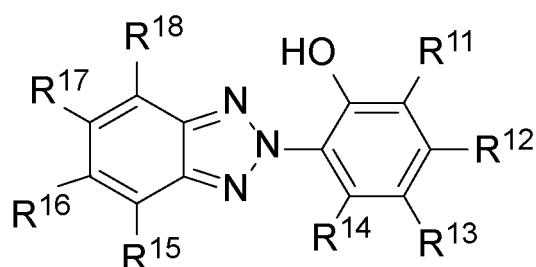
基材と、該基材の上に形成された色材層とを有し、

該色材層には、下記式(1)で表される化合物と、下記式(2)で表される化合物、下記式(3)で表される化合物及び下記式(4)で表される化合物からなる群から選択されるいずれか1の化合物とが含有される、

30

ことを特徴とする感熱転写記録用シート。

【化1】



式(1)

40

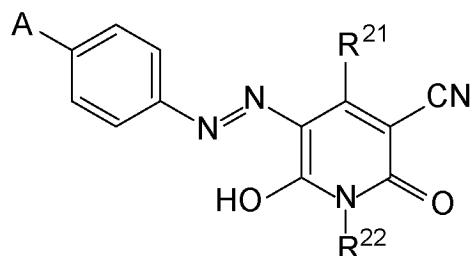
【式(1)中、

R<sup>11</sup>及びR<sup>13</sup>は、それぞれ独立して、水素原子、アルキル基、アラルキル基、無置換のアリール基または置換基を有するアリール基を表し、

R<sup>12</sup>、R<sup>14</sup>～R<sup>18</sup>は、それぞれ独立して、水素原子またはアルキル基を表す。】

50

## 【化2】

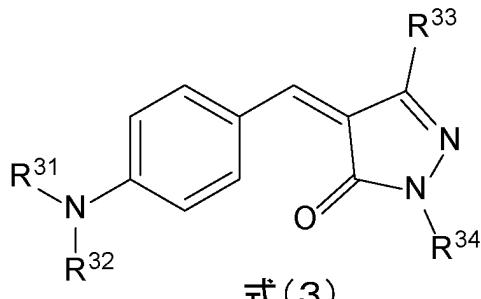


式(2)

10

[式(2)中、  
 $R^{21}$ 及び $R^{22}$ は、アルキル基を表し、  
 $A$ は、 $-SO_2N(R^{23})R^{24}$ 、 $-CON(R^{23})R^{24}$ または $-COOR^{23}$ を表し、  
 $R^{23}$ 及び $R^{24}$ は、それぞれ独立して、水素原子またはアルキル基を表す。]

## 【化3】



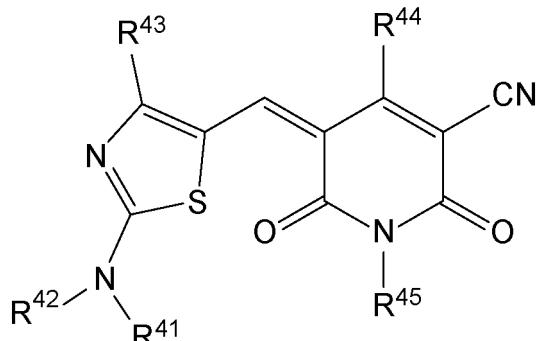
式(3)

20

[式(3)中、  
 $R^{31}$ 及び $R^{32}$ は、それぞれ独立して、アルキル基を表し、  
 $R^{33}$ は、アルキル基、アリール基またはアルコキシ基を表し、  
 $R^{34}$ は、アルキル基またはアリール基を表す。]

## 【化4】

30



式(4)

40

[式(4)中、  
 $R^{41}$ 及び $R^{42}$ は、アルキル基を表し、  
 $R^{43}$ は、水素原子、アルキル基、無置換のアリール基または置換基を有するアリール基を表し、  
 $R^{44}$ は、アルキル基、無置換のアリール基または置換基を有するアリール基を表し、  
 $R^{45}$ は、水素原子、アルキル基、無置換のアリール基、置換基を有するアリール基または $-N(-R^{46})R^{47}$ を表し、  
 $R^{46}$ 及び $R^{47}$ は、以下の(i)または(ii)の規定を満たす。  
(i)  $R^{46}$ 及び $R^{47}$ は、それぞれ独立して、水素原子、アルキル基またはアシル

50

基を表す。

( i i )  $R^{4\ 6}$  と  $R^{4\ 7}$  とが互いに結合して環を形成し、 $R^{4\ 6}$  と  $R^{4\ 7}$  は環を形成するためには必要な原子団を表す。 ]

【請求項 2】

該色材層中における

該式(1)で表される化合物の含有量と、

該式(2)で表される化合物、該式(3)で表される化合物及び該式(4)で表される化合物からなる群から選択されるいづれか1の化合物の含有量とが、

質量基準において以下の関係を満たす、請求項1に記載の感熱転写記録用シート。

該式(1)で表される化合物の含有量 / (該式(2)で表される化合物、該式(3)で表される化合物及び該式(4)で表される化合物からなる群から選択されるいづれか1の化合物の含有量) = 1 ~ 2

【請求項 3】

該色材層が結着樹脂を含有しており、

該式(1)で表される化合物の含有量が、該結着樹脂100質量部に対して、1質量部以上40質量部以下である、請求項1または2に記載の感熱転写記録用シート。

【請求項 4】

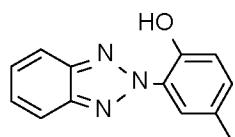
該色材層が結着樹脂を含有しており、

該式(2)で表される化合物、該式(3)で表される化合物及び該式(4)で表される化合物からなる群から選択されるいづれか1の化合物の含有量が、該結着樹脂100質量部に対して、1質量部以上20質量部以下である、請求項1~3のいづれか1項に記載の感熱転写記録用シート。

【請求項 5】

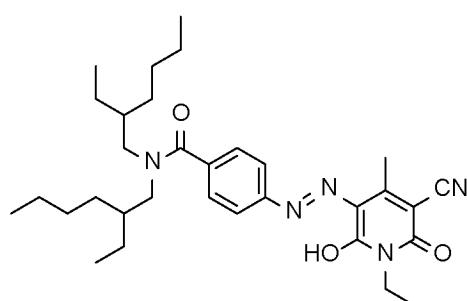
該色材層が、下記化合物(1-3)と、下記化合物(2-21)、下記化合物(2-24)、下記化合物(3-2)、下記化合物(3-5)、下記化合物(4-16)及び下記化合物(4-20)からなる群より選択されるいづれかの化合物とを含有する、請求項1~4のいづれか1項に記載の感熱転写記録用シート。

【化5】

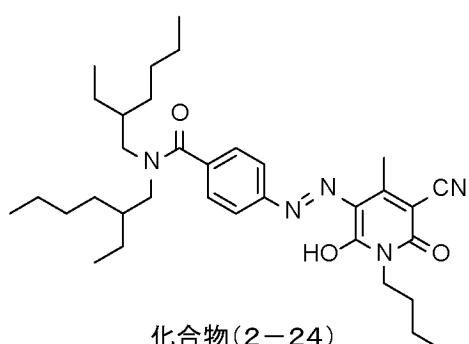


化合物(1-3)

30



化合物(2-21)

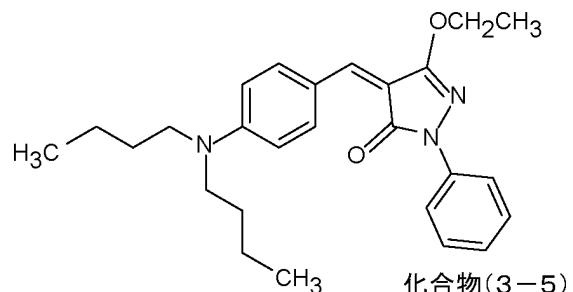
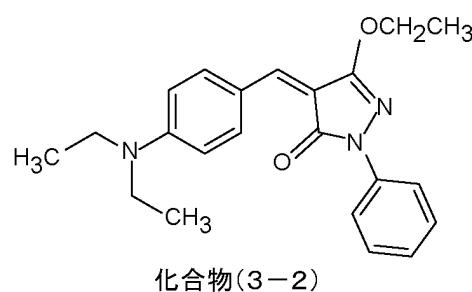


化合物(2-24)

40

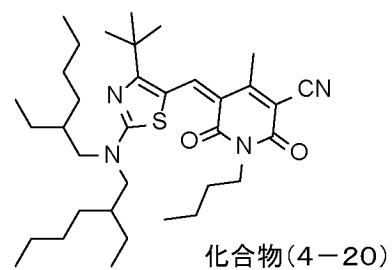
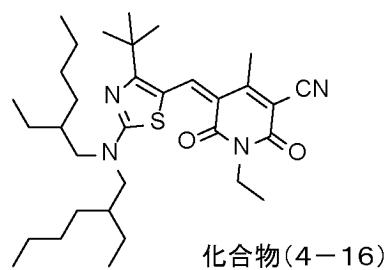
50

## 【化 7】



10

## 【化 8】



20

30

40

50